



週間情報



No.0727

発行日 令和7年7月22日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 熊本県消防長会「ハラスメント防止研修」を開催

熊本県消防長会

熊本県消防長会では、令和7年7月3日（木）、県内消防本部を対象とした、「ハラスメント防止研修」を開催しました。

本研修は、ハラスメント対策の強化と職場風土の改善の必要性を踏まえ、職員の意識と知識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、約200人が受講し、全国の消防本部でも多数の講演実績がある、兵庫県ころのケアセンター特別研究員の大澤智子氏を講師としてお招きして、ハラスメント防止の考え方、部下との関わり方、指導の工夫などについて、消防現場の実情を踏まえながら、分かりやすい内容で、ご講演いただきました。

受講者からは、「大変有益でした。」との声が多く寄せられました。

今後も、ハラスメントのない健全な職場環境づくりに向けて、継続的に取り組んでまいります。



【研修の様子】

消防本部の動き

訓練

◆ 土砂災害対応訓練を実施

西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和7年6月23日（月）から25日（水）までの3日間、管轄内にある伊達砕石株式会社の敷地内において、土砂災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、有珠山噴火に伴う泥流災害や全国各地でも頻発している土砂災害に備えるために実施したものです。

当日は、応急土留めを活用した内堀救出要領、一方掘り救出要領、ドローンによる現場上空からの監視要領、現場指揮本部による安全管理要領を再確認しました。

また、基礎訓練を実施した後、総合訓練では、「土砂崩れにより、要救助者が埋没している。」との想定で、実災害さながらの訓練を行い、各中隊の連携強化を図ることができました。

今後も、あらゆる災害に対して、迅速、的確に対応できるよう、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「石油コンビナート合同防災訓練」を実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和7年6月26日（木）、石油コンビナート等防災区域において、日本海洋石油資源開発株式会社新潟鉱業所の自衛防災組織および新潟東港西地区共同防災組織と合同で、「石油コンビナート合同防災訓練」を実施しました。

当日は、「新潟県下越沖を震源とする震度7の地震により、原油約3,000KLを貯蔵する浮屋根式タンクでスロッシングによりリング火災が発生した。」との想定で、指揮隊を中心とした情報収集と的確な指揮活動を行うことにより、速やかに毎分3,000Lの高所放水活動を行うなど、他機関と連携した、統制のとれた訓練となりました。

石油コンビナート災害をもたらした新潟地震から60年以上が経過しましたが、過去の災害を教訓にするため、今後も訓練を継続し、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「大規模災害対応研修会」を実施

北見地区消防組合消防本部（北海道）

北見地区消防組合消防本部では、令和7年6月27日（金）、オホーツク管内の6消防本部と合同で、広域応援や緊急消防援助隊の活動を想定した「大規模災害対応研修会」を実施しました。

これまでは、拠点機能形成車を活用した後方支援活動を中心とした訓練を行ってきましたが、今回は、大規模災害を想定し、午前に参加訓練、座学研修、非常食の炊き出し訓練、午後に土砂災害対応訓練を実施しました。

各消防本部が同じ目的で活動したことで、共通認識の醸成と顔の見える関係が構築でき、各消防本部との連携強化につなげることができました。

今後も、有事の際に各消防本部が連携・協力して活動できるよう、知識・技術の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「大規模災害実動訓練」を実施

久留米広域消防本部（福岡）

久留米広域消防本部では、令和7年6月26日（木）、27日（金）の2日間、管内の山間部にある事業所の土場において、「大規模災害実動訓練」を実施しました。

当日は、気温が30℃を超える中、「大雨により山間部で土砂災害が発生し、土砂に埋没した建物の中や倒木の下敷きになっている要救助者が多数発生している。」との想定で、本番さながらの環境下において、ドローンや土砂監視センサーなどを活用して、安全管理に配慮した実践的かつ効果的な訓練を実施しました。

今後も、災害活動に効果的な訓練を重ね、災害対応力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 関係機関と合同で急患搬送訓練を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和7年6月27日（金）、当市で唯一の有人離島である津堅島において、沖縄県ドクターヘリ、津堅診療所、中城海上保安部、沖縄県消防指令センター、うるま市消防団と合同で、急患搬送訓練を実施しました。

津堅島では、急患が発生した場合、日中は定期船や同ドクターヘリで、夜間は同海上保安部巡視艇で、沖縄本島の高次医療機関へ搬送しています。

今後も、関係機関と連携強化を図るとともに、住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察と合同で水難救助訓練を実施

西置賜行政組合消防本部（山形）

西置賜行政組合消防本部では、令和7年6月30日（月）、山形県警察本部長井警察署および小国警察署と合同で、水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、同年6月17日（火）に締結した「警察消防相互協力等協定」を契機として実現したものです。

当日は、ボート操船訓練、溺者救助訓練、スローバック投てき訓練、ドローン操縦訓練などを行い、各機関の機動力や初動対応について相互に理解を深めることができました。

今後も、関係機関と連携した訓練を実施し、災害対応能力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【協定締結後の記念撮影】

◆ 大規模震災を想定した震災対応合同訓練を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和7年6月30日（月）、市内の廃校となった小学校において、石橋地区消防組合消防本部および栃木市消防本部と、大規模震災を想定した震災対応合同訓練を実施しました。

この訓練は、栃木県広域消防応援等計画や相互応援協定に基づく、大規模震災時における協力連携の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「地震により倒壊した建物内に、要救助者が取り残されている。」との想定で、2階の床から1階への進入路を確保するための破壊活動を行った後、要救助者を2階に救出しました。

今後も、解体予定の建物を活用した実践的な訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 4 消防本部での水難救助合同訓練を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和7年7月4日（金）、当消防本部管内を流れる一級河川の利根川において、隣接する太田市消防本部、行田市消防本部、熊谷市消防本部と水難救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、水の事故が多く発生するシーズンを迎えるにあたり、流れの速い利根川でたびたび発生する水難事故に備えるため、消防本部間の情報共有を円滑に行い、迅速な救助活動につなげることを目的として実施したものです。

当日は、当消防本部管内流域で「水上バイク同士の事故により、複数人が川に投げ出された。」との想定で、状況の確認から応援要請、救助活動までに至る一連の流れを再確認し、連携した活動を通じて、課題の抽出と共通認識を深めることができました。

今後も、関係機関と連携した訓練を継続し、災害対応能力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 神奈川県建物解体業協会登録業者の指導による重機操縦技術研修を実施

相模原市消防局（神奈川）

相模原市消防局では、令和7年7月4日（金）、神奈川県建物解体業協会登録業者にご協力いただき、重機操縦技術研修を実施しました。

この研修は、過去の災害現場において課題となっていた寸断された救助活動場所への重機進入路作成方法や泥濘地でのスタック救出方法など、複数台の重機による連携活動技術を習得することを目的として、平成26年から継続的に実施しているものです。

当日は、同建物解体業協会登録業者から講師をお招きし、目的に則した訓練を行ったほか、初めてダンプトラックとの連携訓練を実施し、関係機関との円滑な連携方法を習得することができました。

今後も官民一体の理念のもと、さらなる連携強化および活動技術の習得に努めてまいります。



【ダンプトラックと連携の様子】



【スタック救出の様子】

◆ 緊急消防援助隊後方支援訓練を実施

茨城西南広域消防本部（茨城）

茨城西南広域消防本部では、令和7年7月8日（火）、茨城県古河市共和電設とねミドリ館において、緊急消防援助隊後方支援隊訓練を実施しました。

この訓練は、県内消防本部において、顔の見える関係性を構築するとともに、緊急消防援助隊部隊間の連携強化と円滑な後方支援体制を構築することを目的として実施したものです。

当日は、茨城県の第3ブロックに所属する8消防本部の隊員70人と拠点機能形成車、支援車I型、燃料補給車などの車両13台が集結し、実践型の後方支援訓練を実施しました。

今後も、今回の訓練を教訓に、茨城県後方支援中隊における対応力と連携の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 解体予定の建物を活用した警防最前線訓練を実施

多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和7年7月8日（火）、9日（水）の2日間、市内の解体予定建物を活用した警防最前線訓練を実施しました。

この訓練は、火災初期段階における検索救助活動を迅速に行うことを目的として実施したものです。

当日は、平屋建て一般住宅内の濃煙環境化において、熱画像直視装置を活用した迅速な救助活動を行い、経験が浅い職員にとって実践的な経験を補う訓練となりました。

また、熱中症警戒アラートが発令中であったことから、熱中症対策である「アイスバス」の検証も行い、有効性を実感することができました。

今後も、「アツイまち、多治見」の暑さに負けず火災対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【アイスバスの検証】

研 修

◆ 「空気呼吸器取扱い講習会」を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和7年7月2日（水）、「空気呼吸器取扱い講習会」を実施しました。

この講習会は、空気呼吸器の使用・点検方法を正しく理解するとともに、安全・確実に扱うことを目的として実施したものです。

当日は、株式会社福寿の担当者を講師としてお招きし、基礎知識、取り扱い上の注意点、実際にあった故障・破損事例について、実演を交えながらご説明いただき、改めて空気呼吸器の理解を深めることができました。

なお、隣接消防本部の職員も同講習会に参加し、連携強化につながる講習会となりました。



【講習会の様子】

◆ 「予防業務に関する勉強会」を実施

つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和7年7月3日（木）、4日（金）の2日間、消防職員を対象に「予防業務に関する勉強会」を実施しました。

この勉強会は、予防事務に関する指導内容の統一と検査対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

両日は、計109人の職員が参加し、「消防用設備等の指導に関する統一事項」について、詳細に解説したほか、「消防用設備等の検査要領」について、写真や動画を活用しながら講義を行い、教養を深めることができました。

今後も、予防業務に関する勉強会を開催し、職員の知識、技術の向上を図るとともに、市民の安全、安心の確保に努めてまいります。



【勉強会の様子】

◆ コンタミネーション販売事故対応訓練を実施

尾三消防本部（愛知）

尾三消防本部では、令和7年7月9日（水）、各消防署予防課職員を対象とした、ガソリンスタンドなどにおけるコンタミネーション（以下「コンタミ」という。）販売事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、コンタミ販売事故における初動対応を迅速かつ確実に行うことを目的として実施したものです。

当日は、対応マニュアルを説明した後、総合訓練として「荷下ろし中にコンタミをおこしてしまったとの一般加入の通報があった。」「ガソリンスタンドで購入した灯油に異変を感じると住民から消防署へ駆け付け通報があった。」との想定で、混入・販売状況と原因などの把握から、緊急使用停止命令の発動判断、広報範囲の決定、危険物の回収まで一連の処理手順を確認しました。

今後も訓練とマニュアルの見直しを継続し、社会的な影響が大きいコンタミ販売事故に対して、職員全体が共通認識を図れるよう努めてまいります。



【訓練の様子】

その他

◆ 救急救命功労者へ感謝状を贈呈

防府市消防本部（山口）

防府市消防本部では、令和7年7月9日（水）、救急救命功労者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年5月8日（木）に発生した救急事案において、ごみ収集車の車両誘導中に卒倒した男性に対して、同僚である救急救命功労者の2人が連携し、迅速な119番通報と胸骨圧迫による救命処置を実施し、救急隊に引き継いだものです。

男性は、救急救命功労者2人の迅速な判断と行動により、一命を取りとめ、社会復帰することができました。



【贈呈式の様子】



【贈呈式後の記念撮影】

◆ 「職場の防火管理スキルアップ講習会」を開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁武蔵野消防署では、令和7年6月26日（木）、27日（金）の2日間、「職場の防火管理スキルアップ講習会」を開催しました。

両日は、座学と初期消火実動訓練を組み合わせる講習会を行い、26日（木）は、防火管理者に対して、防火管理業務や自衛消防隊長としての活動に関する「防火管理リーダー育成講習」を実施しました。

また、27日（金）には、一般従業員に対して、火災予防や自衛消防活動の基礎知識に関する「働く人のための火災予防スタートアップ講習」を実施しました。

参加者からは「屋内消火栓設備を触ったことがなかったので、非常に勉強になりました。」との感想を多く聞くことができ、実動訓練の大切さを実感しました。

応募方法では、署ホームページ内に東京消防庁アプリのアンケート機能を活用した申し込みフォームを設置したことで、DX化の推進、利便性の向上、作業の効率化を実現することができました。



【講習会の様子】

◆ 救急車のサイレンアンプを活用した多言語による予防救急啓発活動を開始

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和7年6月27日（金）、丸の内ビジネス専門学校にご協力いただき、救急車のサイレンアンプを活用した多言語による予防救急啓発活動を開始しました。

この取り組みは、あらかじめ救急車に積載した音声データを、災害の帰署途上や給油出向時などにサイレンアンプで自動再生し、市民に対して熱中症予防を啓発することを目的として開始したものです。

この音声データは、訪日外国人観光客の増加を受け、これまでの日本語に加えて英語・中国語にも対応できるように、同専門学校に通う留学生と共同で制作しました。

今後も、信州まつもとを訪れる海外からの観光客にもわかりやすい声をお届けし、熱中症をはじめとする救急事故に対する予防活動に努めてまいります。



【英語による音声データを制作する様子】



【丸の内消防署の救急車】

◆ 「深日港フェスティバル」において消防フェアを実施

泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南広域消防本部では、令和7年6月29日（日）、岬町の深日港で開催された「町制施行70周年記念 第12回深日港活性化イベント 深日港フェスティバル」において、岬町、岬町消防団、岬町女性防火クラブ連合会と合同で、消防フェアを実施しました。

当日は、天候にも恵まれ、同フェスティバルが多くの来場者で賑わう中、消防フェアでは、はしご車搭乗体験コーナー、消防車両展示コーナー、消防服着装コーナーなどを設け、大いに盛り上がりました。

また、住宅防火の重要性を呼び掛けるため、住宅用火災警報器の設置状況などのアンケート調査を実施し、適切な維持管理について普及啓発を行いました。



【消防フェアの様子】

◆ 第46回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会の総会を開催

唐津市消防本部（佐賀）

唐津市消防本部では、令和7年7月3日（木）、福井県敦賀市において、第46回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会の総会を開催しました。

この連絡会は、原子力発電所などが所在する全国15消防本部の会員で組織されており、今年度は、当消防本部が事務局を担当しました。

当日は、総務省消防庁の中越特殊災害室長、開催地である敦賀美方消防組合管理者の米澤市長、福島県防災安全部などから7人の来賓をお迎えし、各消防本部が抱える原子力防災に関する諸問題についての情報交換や、来賓からの助言や指導により、会員相互の情報連絡体制をさらに強化することができました。

なお、令和8年度と同総会は、柏崎市消防本部（新潟県）において開催予定です。



【総会の様子】

◆ 「レスキュー隊の家族参観日」の実施

守口市門真市消防組合消防本部（大阪）

守口市門真市消防組合消防本部では、令和7年6月28日（土）、29日（日）、7月6日（日）の3日間、「レスキュー隊の家族参観日」を実施しました。

この取り組みは、日頃から消防業務へのご理解とご協力をいただいているご家族や関係者を消防庁舎に招待し、隊員の訓練や消防庁舎・車両の見学を通じて、消防活動への理解と信頼を一層深めていただくとともに、隊員の士気の向上を図り、地域住民との信頼関係の醸成と地域に密着した消防体制の確立につなげることを目的として実施したものです。

当日は、幅広い年齢層のご家族や関係者の皆さまにご参加いただき、普段は見ることのできない訓練を実施したほか、消防庁舎内の見学と写真撮影などを行い、防災意識の向上とご家族との絆を一層深めることができました。



【記念撮影の様子】

消防庁通知等

◆ 「火災予防分野における技術カタログ」の更新について（通知）

（消防予第294号、令和7年7月7日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防庁では、点検に係る新たな技術を公募し、学識経験者等で構成された「火災予防分野における点検技術評価会議」において、応募のあった技術の評価を実施の上、従前の点検方法に代替できると認められた技術及び効率化等に資すると認められた技術について、「火災予防分野における技術カタログ」としてとりまとめ、公表することとしています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/syoubouyo294.pdf>）に掲載されています。

連絡先

消防庁予防課

（設備係） 明田、関、新田

（企画調整・制度・防災管理係） 奥田、辻、中西

電 話：03-5253-7523

E-Mail：yobo@soumu.go.jp

報道発表

◆ アニメ『怪獣8号』とタイアップした住宅用火災警報器の維持管理広報ポスターの配布

（令和7年7月8日、消防庁）

消防庁では、7月19日（土）よりテレ東系列ほかにて放送開始のアニメ『怪獣8号』とタイアップした、住宅用火災警報器の維持管理広報ポスターを作成し、全国の消防本部等に配付します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250708_yobo1.pdf）に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁予防課

谷川、高木

TEL：03-5253-7523 FAX：03-5253-7533

別表第 1

<令和 8 年度短期受託研修>

研修区分	実施部隊など	研修内容	期間	人数	実施時期
災害指揮・安全管理技術研修	消防署指揮隊	教養および災害現場での実習など	2日勤 または 2当務	応募数 により 調整	令和 8 年度 冬季 (具体的な 実施日は、 個別に調整 し決定)
高度救助技術研修	消防署特別救助隊、消防救助機動部隊、または即応対処部隊	救助活動訓練など	2日勤		
火災調査技術研修	本庁調査課	教養および火災現場での調査実習など	3日勤	9名 程度	

※ 上記研修区分以外での研修を希望する場合は、個別にご連絡ください。

別表第 2

<令和 8 年度長期受託研修内容 (例) >

部	研修内容	部	研修内容
企画調整部	<ul style="list-style-type: none"> ○業務の最適化関連事務 ○DX推進（行政手続デジタル化、デジタル人材育成、デジタル先端技術実装（AIの活用を含む）など）に関する企画・立案 ○広報に関する企画・調整 ○広報イベントなどの企画・実施 ○印刷物などの企画・制作 ○新聞、テレビなどへの取材対応 ○災害現場における広報支援活動 ○広聴対応 	総務部	<ul style="list-style-type: none"> ○式典・行事（出初式など）関係事務 ○国際業務全般（外国人視察対応など） ○音楽隊業務 ○経理実務全般 ○消防庁舎の計画・設計・施工・保全および管財事務 ○新本部庁舎整備に関する事務（調査・設計・施工など） ○各種情報通信システムの各種関連事務
安全推進部	<ul style="list-style-type: none"> ○安全推進施策および安全教育・広報 ○安全に係る計画の全体統括および進行管理 ○災害史安全教育室の運営 ○職務に起因する事故の対応および再発防止対策 ○安全評価の企画および実施 ○安全および消防の科学技術に係る研究 ○職務に起因する事故の根本原因分析 ○危険物の確認試験など ○火災に係る物件などの鑑定 (安全推進部の研修内容については、関連する実務経験を有する必要はありません。) 	人事部	<ul style="list-style-type: none"> ○人事制度の企画・立案 ○採用試験事務 ○募集広報事務 ○表彰式典関係事務 ○勤務制度関係事務 ○福利厚生関係 ○待機宿舍関係事務 ○健康管理関係事務

部	研修内容	部	研修内容
警防部	<ul style="list-style-type: none"> ○指揮隊の消防活動能力向上に関する技術指導および関係事務 ○出場計画などに関する制度の立案 ○消防戦術の調査および立案 ○消防特別警戒関係事務 ○消防資器材の整備計画関係事務 ○震災に関する消防活動対策事務 ○水災・土砂災害に関する消防活動対策事務 ○救助技術の調査研究および指導 ○消防活動訓練の技術指導および関係事務 ○警防業務における安全管理関係事務 ○NBC災害や船舶・航空機・林野火災などの特殊災害消防活動対策事務 ○テロ災害事象の調査研究および消防活動対策 ○指令管制関係事務 	防災部	<ul style="list-style-type: none"> ○防火防災訓練の訓練指導関係事務 ○地域連携・応援協定関係事務 ○総合防災教育関係事務 ○消防少年団（少年消防クラブ）育成指導関係事務 ○都民防災教育センター（防災館）関係事務 ○要配慮者の安全対策関係事務 ○住宅防火対策および放火防止対策関係事務 ○都民生活事故防止関係事務 ○災害時支援ボランティア関係事務 ○震災消防対策システム事務 ○地震時における室内安全対策事務 ○地域防災計画、国民保護事務 ○東京都総合防災訓練事務 ○火災予防審議会事務 ○消防水利施設の設計および工事監理関係事務 ○消防団員募集広報事務 ○消防団装備・施設事務 ○消防団活動・計画事務
救急部	<ul style="list-style-type: none"> ○メディカルコントロール体制運営・調整事務 ○救急統計事務 ○救急需要対策事務 ○救急資器材管理事務 ○救急医療体制事務 ○救急相談センター運営事務 ○救急技術関係事務 ○救急隊員の教育に関する事務 ○応急手当普及啓発関係事務 ○救急活動照会関係事務 	予防部	<ul style="list-style-type: none"> ○消防同意の審査、検査事務 ○消防用設備などの審査、検査事務 ○火気・電気設備器具の審査、検査事務 ○危険物施設などの許認可、検査事務 ○危険物施設などの基準作成事務 ○危険物施設などの火災予防措置事務 ○石油コンビナートなど特別防災区域に関する事務 ○立入検査、違反処理に関する事務 ○各種点検報告に関する事務 ○禁止行為の解除承認事務 ○違反対象物の公表に関する事務 ○火災原因、損害状況の調査事務 ○火災調査資料の収集、分析事務 ○防火防災管理制度に関する事務 ○自衛消防の指導事務
装備部	<ul style="list-style-type: none"> ○車両製作事務 ○消防装備資器材および個人装備品（被服を含む。）の買入れ事務 ○消防艇の法定整備、塗装整備事務 ○機関員（舟艇を含む。）の育成に関する事務 ○消防車両、舟艇の安全運行に関する事務 ○消防機械器具整備事務 ○回転翼航空機の運航事務 	消防学校	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教養計画関係事務 ○消防団教育訓練事務 ○教育指導要領 ○各種学校研修運営事務

※ 原則として、派遣期間は一つの課に配属されます。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。